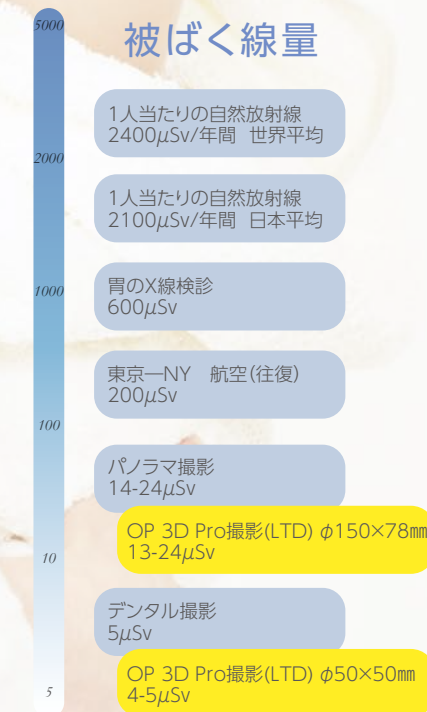


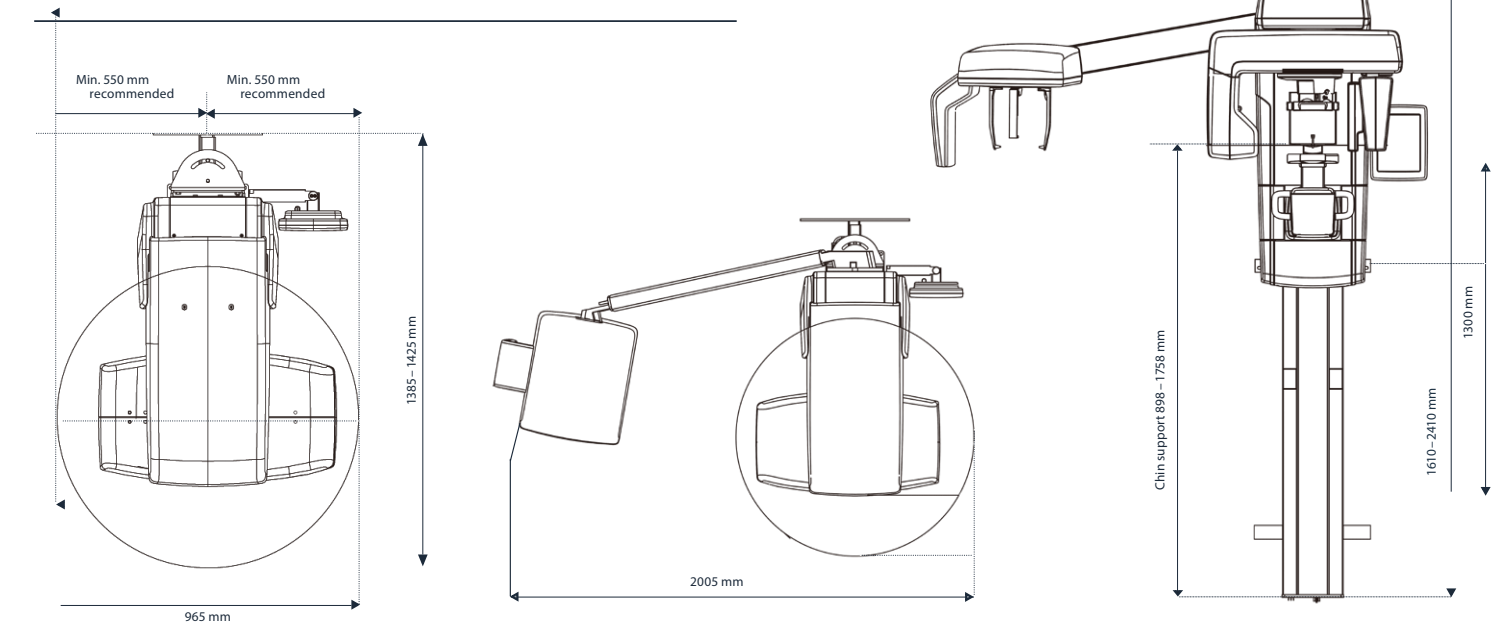
ORTHOPANTOMOGRAPH™ OP 3D Pro
A platform for changing needs

We care for your patients' well-being



参考:ICRP2007年勧告 ノースカロライナ州立大学研究データ等を元にヨシダにて作成

Unit Dimensions



テクニカルデータ

パノラマ	セファロ	3D
センサー C-Mos センサー 階調 16,384 (14ビット) 拡大率 1.23-1.55 照射時間 パノラマ 14.4~16.4 秒 TMJ 10.6~17.9 秒 プログラムモード パノラマ (標準、小児、オルソゾーン、直行、ワイド) TMJ (側方、PA)、上顎洞、バイトウィング	センサー C-Mos センサー 階調 16,384 (14ビット) 拡大率 1.15 照射時間 10~20 秒 プログラムモード 側方、PA/AP、斜位、手根管 (オプション) サイズ: H184~221×W170~260mm	センサー C-Mos センサー ポリウムサイズ φ50×50 mm, φ78×61 mm, φ78×78 mm, φ150×78 mm, φ150×130mm (オプション) ポクセルサイズ 85 μm~420 μm 撮影時間: 1.17-20 秒

- 販売名: オービー300 ●一般名称: デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置、アーム型X線CT診断装置 ●医療機器認証番号: 223ACBZX00017000 (管理医療機器)(特管設置)
- 管電圧: 57-90 kV ●管電流: 4-16mA ●X線管焦点: 0.5mm×0.5mm ●総ろ過: 3.2mm アルミ当量以上 ●電源: 1.5 kVA
- 寸法: パノラマ+3D: (W)965mm×(D)1,405mm×(H)2,410mm(最小 2,110mm)
 パノラマ+3D+セファロ: (W)2,007mm×(D)1,405mm×(H)2,410mm(最小 2,110mm)
- 重量: パノラマ+3D: 200kg
 パノラマ+3D+セファロ: 240kg
- 別途専用サーバが必要です。 ●設置には壁固定が必要です。
- 仕様および外観は製品改良等のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

禁無断転載

●発売元: **株式会社 ヨシダ** 〒110-8507 東京都台東区上野 7-6-9 TEL.0120-178-148(コンタクトセンター)
 ●製造販売元: (株) エム・ディ・インスツルメンツ
 茨城県稲敷郡阿見町吉原字鎌田 3262-3



C02233/2020年6月/Pri/10/@60/新



KAVO
Dental Excellence

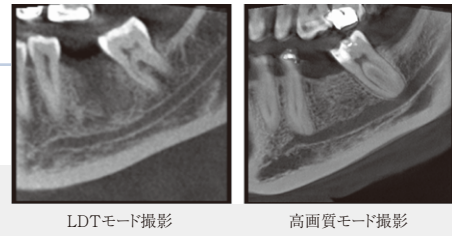
1

全ての撮影において患者さまのことを考え抜いた
3Dパノラマレントゲンです

3D撮影をもっと身近なものへ...

Low Dose Technology™ LDT 超低被ばく撮影モード搭載

低被ばく線量テクノロジー(LDT)により照射線量を極力抑えつつも診療に必要な情報を診ることができます。小児や女性の患者さま、被ばくにセンシティブな患者さまに対して撮影する際も説明しやすい線量となっております。



Low Dose Technology™ の実力

Low Dose Technology™でのモードの実効線量を他の撮影モードで同じ範囲を撮影した線量と比較すると、**標準モードより平均77%低減、高解像度モードより平均86%低減**できます。

Low Dose Technology™ の実効線量低減率(%)

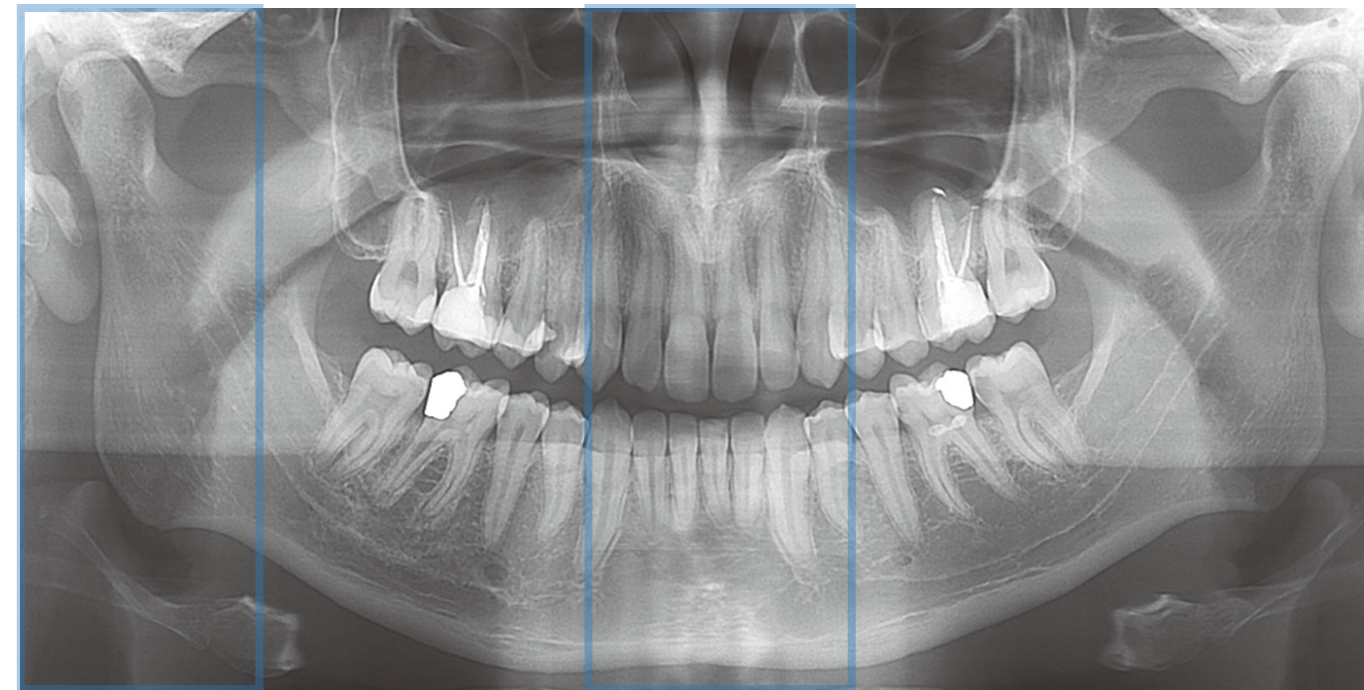
Low Dose Technology™と標準モード、高解像度モードを比較

CT撮影範囲	LDT 実効線量	他撮影モードと比較した LDTの実効線量低減率	
		標準モード	高解像度モード
φ50×50 上顎	4μSV	80%	90%
	φ50×50 下顎	5μSV	81%
φ78×61 上顎	8μSV	80%	90%
	φ78×61 下顎	14μSV	79%
φ78×78 上顎・下顎	16μSV	79%	90%
φ150×78 歯列全体	24μSV	80%	83%
φ150×78 TMJ	13μSV	80%	83%
φ150×13 歯列全体+TMJ	33μSV	60%	74%

引用:OP300 Maxio Dosimetry Report, Prof. John B. Ludlow, April 2014.

2

プレミアムクオリティな画像診断で
更なる上質な医療をお届けします



▶ ADC機能(自動照射線量調整機能)

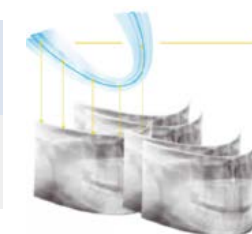
患者さまの体格や骨量に合わせて自動で照射量を調整し、低線量かつ高画質を実現。

▶ ASC機能(自動頸椎調整機能)

頸椎部分の照射量を自動調整するので、前歯の歯根部も低被ばくながら鮮明に再現されます。

▶ マルチレイヤー機能

1回の撮影で-6mmから+6mmまで3mmきざみで異なる層のパノラマ画像が5枚取得され、診断に有効な画像をドクターご自身が選択することができます。



▶ AFC機能(自動軟組織フィルター)

軟組織のX線量を自動的に減らします。軟組織・硬組織それぞれに適した照射は画像を鮮明に表示させセファロ分析時トレースポイントの視認性を高めます。

※セファロはいずれも1.1倍の印刷が可能です。



最大221(高さ)×260(幅)mm~184(高さ)×170(幅)セファロの撮影範囲を調整いただけます

3

あらゆる症例に対応する
3Dの豊富な撮影範囲と撮影モード

撮影範囲 (mm)	症 例	サンプル画像
φ50×50	■ エンド ■ 埋伏歯抜歯 ■ 局所インプラント	
φ78×61	■ ペリオ ■ 上顎洞診査	
φ78×78	■ サージカルガイド連携 ■ 上下顎埋伏歯	
φ150×78	■ 両顎TMJの同時診査 ■ 上下顎及び左右埋伏歯 ■ 気道	
φ150×130 Optional	■ 矯正 ■ 顔面の再建	



エンドモード

最小スライスピッチ85μm。歯根の形態や病巣の広がりを診れ歯内療法等、日常臨床にご活用いただけます。(50×50mmのみ対応)

選べる撮影モードは診療目的や患者さまに応じて選択することで被ばくを軽減します。また、日常臨床からインプラント・矯正まで様々な症例に対応します。



アーチファクト除去機能

画像診断の妨げとなっていた3Dのアーチファクトを軽減することができます。



SMARTVIEW™ 機能

3D撮影の前に、撮影領域の前方および側方をプレショットできます。診たい部位が撮影領域に含まれているか事前確認できます。

使いやすい3D画像ビューアー

3D画像の閲覧では、使用感や目的にあわせて下記2つのソフトをお選びいただけます。



Ondemand3D

歯科により適した画像診断ビューアーが両側顎関節の診査や比較など、スムーズな診断をサポートします。



invivo

一般的な歯科診断に加え、気道体積計測や顎関節形態の観察を実施する場合にお勧めです。また、オプションにて「3DAnalysis」を追加することで3D画像での矯正分析が可能です。